



小網代通信

発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代
1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子
連絡先：office@koaziroyc.jp

Koaziroyc Yacht Club

2024年 3月号 VOL-309

2024. 3.10 発行

今月の内容	ページ
連絡事項 (編集委員).....	1
「2024年度オーナー交代により5艇の新オーナーご紹介」 (サーモンフォー / 飛車角 / ハイスピリット / スピリット オブ トウキョウ / 衣笠).....	2~4
今後のイベント予定	
3月 KFR :3月17日(日) Hコース (10:25 予告 15:00 タイムリミット)	
総務委員会 :3月18日(月) 19:00~ ハイブリッド(品川でリアル会議と Zoom 会議)で実施	

連絡事項

1. KYC 定時総会 2月19日(月) 三田 駐健保会館で開催しました。

2023年度定時総会は、46艇中21艇の出席と25艇の委任状により必要な定足数を満たした上で19時から開催されました。五十嵐会長が議長となり、2023年度の活動報告を行い、決算案は会計の鈴木(深)氏が行ないました。その結果、第1号議案は承認され、第2議案の2024年度の計画案と予算案も異議なく可決承認されました。続いてオーナー交代の5艇の各新オーナーからの自己紹介があり、出席者からあたたかな拍手で迎えられました。その後、基金総会を基金委員会会長の五十嵐氏が議長となり、第1議案の基金規約改定について委員の野村(政)氏からの説明があり、決算案と予算案は会計が行ない、こちらも異議なく可決承認されました。最後に意見交換などがあり久しぶりの対面での定時総会は終了いたしました。会計担当は鈴木氏が退任し、小川(健)氏に引き継ぎされました。基金担当は、鈴木氏が継続します。

総会の30分前に行われたJSAF三浦外洋セーリングクラブの小網代フリート総会も滞りなく終了、フリートキャプテンは高木氏が退任して新たに藤村氏が就任しました。



↑ 欠席オーナーにもF-ポートで総会の様子を視聴できるようにしました。



↑ 基金総会で野村(政)委員が規約改定について説明しました。

2024年度 オーナー交代により 5 艇の新オーナーのご紹介

(案内は、KYC 艇登録順)

【サーモンフォー 新オーナー 飯島洋一】



サーモンフォーを引継ぎました飯島洋一（ヒロカズ）です。

サーモンは1960年に祖父、富永弘が小網代湾に航いを取って以来、小網代を母港としてセーリングを楽しんでいます。

父が SALMON II を引継ぎ、SALMON III・現在の SalmonFour と艇がかわっています。

子どもの頃のアルバムを見ると1967年にSALMON II 艇上に座っているものが私の最初の小網代ようです。



小網代に毎週通うようになったのは1985年頃からです。同年にSALMON II は父に受け継がれ、ミズンマストを取り去りスループ艇としてKFRにも参加し始めました。私の小網代ヨットクラブとの係わりは1999年にレース委員長を拝命したことがクラブ活動の始まりです。総務委員会にも出席するようになり、クラブメンバーの方々と顔識も次第に多くなってまいりました。

近年では小網代フリートレースが主なセーリング活動となっていますが、今年では近距離クルージングを増やしていこうとも考えています。船齢は29年を迎え、艇内泊をしながらのんびりとメンテナンスをすることも私の楽しみの一つとなっています。

外洋艇の黎明期からの貴重な財産を継承する小網代ヨットクラブのメンバーとして、未永くセーリングを楽しんで行こうと思います。



【飛車角 新オーナー 三浦征幸】

飛車角 新オーナーの三浦 征幸 です。

昨年まで、[飛車角] は名和秀幸氏 と三浦征幸 の2名オーナーで運営しており、クラブの申請書類などは代表オーナーの名和秀幸氏であって、クラブでの連絡先は三浦征幸が担当しておりました。各種の手續が紛らわしいので、本年より三浦征幸に統一することといたしました。

飛車角内部では、従来通り名和秀幸と三浦征幸の2名体制で行うことに変更はございません。

今後ともよろしくお願ひ致します。



【 ハイスピリット 新オーナー 亀井 桂 】

初めまして「ハイスピリット」の亀井 桂と申します。

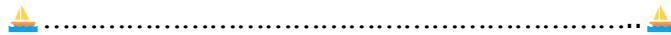
私は船舶免許を取得して 20 年、主にボート釣りをしてきました。東京湾では鰯、太刀魚、真鯛、大島から新島ではカツオ、マグロなどです。沢山ボート釣りをしてきましたが、いつの日かヨットを覚えてみたいと思い友人の誘いを受け家族で夕子のチャーターヨットへ行きました。ヨットで寝泊まりし島から島へ風を受けクルージングできる気持ち良さを経験させていただきました。

それからはヨットを覚え、楽しみたいと思い夫婦でヨットスクールに通いました。

「Over The Hill」のオーナーでいらっしゃる井上さんとの運命的な出会いにより小網代へお誘いいただき、そのきっかけで「ハイスピリット」オーナーの佐藤さんとも出会うことができました。その後小網代に通い佐藤さんとのご縁をいただき、「ハイスピリット」を引き継がせていただくこととなりました。

ロケーションがとても素晴らしい小網代でヨットライフを楽しみ、小網代ヨットクラブの活動にも参加させていただきたいと思います。

ヨット初心者ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



【 スピリット オブ トウキョウ 新オーナー 屋代敏之 】

スピリット・オブ・トウキョウの屋代です。



顔ぐらゐは覚えて頂いていると思いますが、改めまして、よろしくお願ひ致します。

私がヨットのメンバーに迎え入れてもらったのは、もう十数年前に諸磯の飛天に会社の先輩が2人居て、会社で、「お前、海好きだったよな？」と聞かれて「はい」と答えると、「明日ヨットに乗せてやるから、三崎口に8時に来い」と言われたのがきっかけでした。その頃はまだ脂の乗った40代、恐れるものも何もなく、翌週は千葉の保田に1泊のショートクルージング、その翌週はKFRと立て続けに毎週のように諸磯に通うようになり、3回目でお前はもうメンバーだから、会費を払えと言われて、めでたく？飛天のメンバーに加えて頂きました。



あれからもう十数年経ちましたが、まだまだ技術も知識も経験も未熟で、いつになったら先輩に近付けるのか、いまだに背中を追いかけしています。縁あって飛天から五十嵐オーナーのスピリット・オブ・トウキョウに乗り換えられることになり、諸磯から小網代に移って来ました。

スピリット・オブ・トウキョウはクルージング艇なので、慣れるまでは伊豆諸島に1泊から2〜3泊のショートクルーズを繰り返して、今では毎年ロングクルージングを楽しんでいます。本州一周、九州一周、北海道一周、四国、瀬戸内、青森、沖縄等々スピリット・オブ・トウキョウでクルージングしました。



今年も五島列島〜九州方面を計画していますので、途中Join出来る方は何日でもご参加頂けるとうれしいです。是非お声がけ下さい。今までのクルージングの中から数枚写真を載せておきます。メンバーの皆さん、勝手に写真を掲載してごめんなさい。引き続きスピリット・オブ・トウキョウをよろしくお願ひします！

うちの艇はお酒尺山飲めますよ〜

【 衣笠 新オーナー 及川 洋 】

皆様こんにちは。及川と申します。

私が衣笠グループの一員になったのは20代の前半、出向先の職場で出会った同僚の出身会社の先輩方数名が衣笠のオーナーメンバーに加わっていて、何となく「海が好き、船が好き」っぽい感じがした私をその同僚が誘ってくれたのがきっかけです。

衣笠は二代目（SK-34）が進水して数年経った頃で私自身のヨット経験はゼロでした。初めて乗船したときはあいにくの冷たい雨で、朝から焼酎お湯割りを私に勧めて「体が温まるよ」などと、初対面の先輩方が妙に優しくったのを覚えています。その後、私がクルーとして固定メンバーになりそうだと確信した先輩方の態度は豹変・・・もとい、多少厳し目に変化しました。これは「体育会的ヨットあるある」ですね。

以来40年弱、長いこと「若手」と呼ばれて未だにオーナーメンバーの中で最年少ではありますが、このたび衣笠グループ創設者の鈴木康之さんから代表を引き継ぐこととなりました。ちなみに私を衣笠に引き入れてくれたその元同僚は現在大阪で会社経営をされており、長らく衣笠には姿を見せていません。ぼちぼち社長を引退してまた衣笠に復帰してこないかなと期待しているところです。

御存知の方も多いと思いますが、衣笠の先輩方は外洋レース歴戦の猛者ばかりです。私自身はあまり塩気の強い方ではありませんので、これまでの衣笠のイメージが少し変わるかもしれませんが、これも現代の健康志向の表れ(?)とご理解頂ければ幸いです。

今後は主に「くろしお」OBの松浦さんと二人三脚で艇の運営を行っていきます。先輩方もまだまだヨット現役ですから、皆さんと長くヨットが楽しめるように今後も安全第一で頑張ります。小網代の皆様、あらためてよろしくお願いします。



KFR500 回記念パーティでの衣笠メンバー

